

当協会が支援する、「車いす空の旅・北海道」が実施されました

神奈川県遊技場協同組合（伊坂重憲理事長）と神奈川県福祉事業協会（同会長）は、公益財団法人神奈川新聞厚生文化事業団の「車いす空の旅」事業等に300万円を寄付するなどの支援を平成元年から行っています（社会貢献活動報告【242】）。このたび、同事業団の主催で、障害児者とその家族に飛行機での旅行を楽しんでもらう「車いす空の旅・北海道」が実施され、障害児者10人に家族やボランティアを加えた計42名が参加しました。

1 日 時	令和5年9月7日（木）～同9月8日（金）
2 場 所	羽田空港 ～ 北海道 旭川（旭川市博物館、旭山動物園など）
3 主催・共催 ・ 支援団体	公益財団法人神奈川新聞厚生文化事業団・フュージョンコムかながわ・ 県肢体不自由児協会・神奈川県遊技場協同組合・神奈川県福祉事業協会等
4 参加者	障害者・家族・ボランティア 42名

5 概 要

羽田空港での出発式では、伊坂重憲理事長（兼当協会会長）から「皆さんの明るく、元気な笑顔にお会いできてうれしく思う。北海道の大自然を満喫して、楽しい思い出を作ってほしい。」とあいさつしました。

第62回目となった今年は4年ぶりに泊りがけでの開催となり、一行は旭川市博物館や美瑛町の雄大な風景を見学。旭山動物園ではライオンやシロクマを間近で見て歓声を上げるなど、北の大地を満喫。参加者からは、「本当に楽しい時間を過ごすことができた。」といった声が上がりました。

なお、この「車いす空の旅・北海道」は、9月8日、9日付けの神奈川新聞に掲載されたほか、9月27日には神奈川新聞特集記事として掲載されました。



羽田空港で見送りをする伊坂会長（右）と堀井理事



集合写真（当協会職員もボランティアで参加しました）